

公立大学法人会津大学

会津大学短期大学部地域活性化センター

福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター（福島県）



「元気をだせ！クラフトマンin福島プロジェクト」

【事業目的】

風評被害による福島県内への観光客が激減。それに大きく依存してきたクラフト関連業界の打撃が大きい。

これまでクラフト産業分野での活性化の動きは、伝統的工芸品の業種別に行われることが一般的であり、様々な分野が連携して事業を行うことが少なかった。また、具体的な商品開発や商品企画に関するものが多く、継続的に行われた事業でも単発的な内容で行われるものが多かった。

本事業では、様々な分野のクラフト産業が連携し、具体的な技術と企画力などのレベルアップを図る事を目標にし「元気なふくしま」を世界に向けて発信することを目的とする。

【事業実施状況】

●セミナー開催事業

日時：平成23年8月31日(水) 14:00～16:30

場所：会津若松技術支援センター 交流スペース

内容：元気をだせ！！クラフトマン

茨城クラフトデザイン共同体ICDCの取組み紹介

講師：茨城クラフトデザインコミュニティー

代表 中川 聡 氏（参加者：30名）

●ワークショップ開催事業

①日時：平成23年12月8日(木) 10:30～15:00

場所：会津若松技術支援センター 交流スペース

内容：講演「会津どんす絵について」

講師：会津若松市文化財保護審議会 会長 渡邊 明 氏

（参加者：30名）

②日時：平成24年2月12日(日) 13:30～17:00

場所：画廊みゆーず

内容：作り手3名による作品・技法解説と

グループディスカッション（参加者：9名）

【成果・今後予想される事業効果】

（セミナー開催事業）セミナー修了後、台北世界デザインの日本館に、福島の中小企業の製品を被災地で頑張る中小企業として展示したいとの申し出があり、クラフトの分野から(有)小滝商店の漆の折り鶴を展示した。東北の頑張る中小企業の元気をアピールできた。

（ワークショップ開催事業）

①失われつつある会津独自の技法を復活、現代に蘇らすことは産地にとって非常に重要なことであり、今後の新たな商品開発の応用も可能になった。

②作り手が解説するだけでなく、参加者間で自由にディスカッションを行い、産地の活性化についての討議も行われた。